

別紙

事 務 連 絡
平成23年12月6日

報 道 機 関 各 位

青森県健康福祉部健康福祉政策課長

ソ連抑留中死亡者遺骨の伝達について

このたび、政府派遣の遺骨帰還団により、ロシア連邦イルクーツク州「第31収容所第3支部」埋葬地から帰還した御遺骨のうち1柱が、厚生労働省によるDNA鑑定の結果、本県出身者であることが特定されたので、下記のとおり関係遺族へご遺骨を伝達します。

記

1 遺骨伝達日時

- (1) 日時 平成23年12月8日(木) 15時40分
戦没者氏名 佐藤 敏雄
(詳細は別紙記載のとおり)

報道機関用提供資料連絡先	
担当課・担当者	健康福祉政策課 保護・援護グループ 担当 江渡、長内、小野
電話番号	内線 6224 直通 017-734-9278
報道監	健康福祉部 八島次長 内線 6202

(別紙)

1 抑留中死亡者

- (1) 氏名 佐藤 敏雄 (さとう としお)
- (2) 本籍 青森県
- (3) 所属部隊 独立歩兵第137大隊
- (4) 階級 陸軍兵長
- (5) 死亡日時 昭和20年12月30日
- (6) 死亡場所 イルクーツク地区第三収容所

2 遺骨受領者

- (1) 氏名 佐藤 智則 (さとう とものり)
- (2) 続柄 長男

3 伝達日時・場所

- (1) 日時 12月8日(木) 15時40分頃
- (2) 場所 遺骨受領者宅

4 特定に至った経緯

(1) 埋葬地に係る関係資料概要

ロシア連邦イルクーツク州「第31収容所第3支部」埋葬地については、旧ソ連政府より提供された「抑留中死亡者名簿」によると、47名が登載されており、それら旧ソ連政府等提供資料と厚生労働省保管資料を照合調査した結果、「佐藤敏雄」様が埋葬されていることが確認できた。

(2) 収容状況

平成11年8月27日から9月18日までの間、政府派遣の遺骨帰還団は、当該埋葬地に埋葬されていた46柱の御遺骨を収容した。

(3) DNA鑑定の結果

当該埋葬地から収容した御遺骨のうち、DNA鑑定用の検体が採取できた46柱とDNA鑑定の希望されるご遺族との間で鑑定を実施したところ、平成11年8月29日に収容された御遺骨1柱から上記遺骨受領者と親族関係が存在するとの結論が得られ、「佐藤敏雄」様の御遺骨と判明した。

5 参考

国費によるDNA鑑定は平成15年度から導入され、本県では、平成15年度に2柱、平成16年度に2柱、平成17年度に5柱、平成18年度に9柱、平成19年度に1柱、平成20年度に2柱、平成21年度に1柱、平成23年度に1柱を御遺族に伝達しており、今回で24柱目となる。